

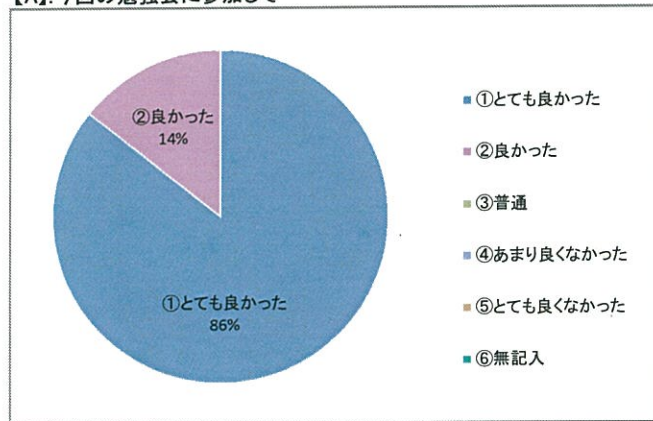
2019年度 森ノ宮医療学園校友会勉強会 アンケート集計結果

タイトル: 講座①膝関節の診かた 変形予防を目的とした鍼治療の可能性について実際の臨床における診断と治療実技

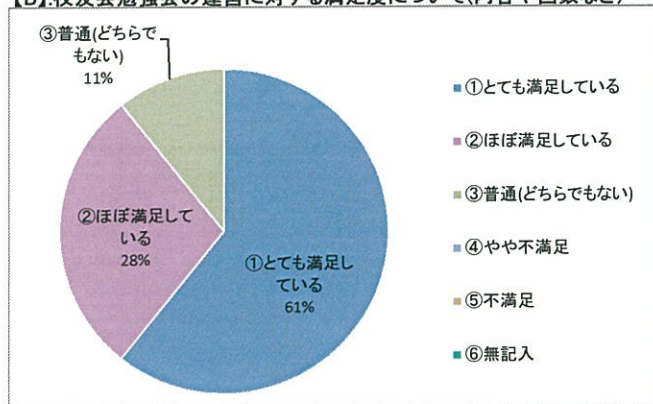
講師: 湯谷 達 先生

実施日: 2019年4月20日(土)		16:00~18:00	
アンケート提出者数: 28		回収率:	87.5 %
受講者数 32			

【A】. 今回の勉強会に参加して



【B】. 校友会勉強会の運営に対する満足度について(内容や回数など)



満足度についてご意見をお聞かせください。

1	今回のよう「座学＜実技」の配分がよい場合もある。
2	自分の技量の確認、再認識ができた。
3	丁寧なわかりやすい説明と実技に改めて勉強になりました。有難うございました。次回も宜しくお願いします。
4	毎回楽しみにしていますが1時間30分という時間が、あっという間過ぎてとても満足まで行けないです。
5	実技があつてタメになった。
6	あまり参加していなかったのによくわからないです。

【C】. ご感想、ご意見、また、校友会への情報をお持ちでしたら、なんでも結構ですお聞かせください。

1	また、是非参加して勉強したいです。初心に戻らせて頂けます。
2	毎回、新しい事を覚えて実りが多いです。やや時間が短く感じます。
3	臨床につながる勉強会がありがたく思います。
4	膝に違和感をかかえて、歩きづらい方は非常に多いと思います。患者さんのQOLを上げる為にも、今日勉強した事を活かして頑張りたいと思います。
5	湯谷先生が、長年努力されて来られた技術を、こんなにあっけなく教えていただきありがとうございます。知ること(イコール)できる事ではないので、先生の努力されたように自分の鍼をみつけたい。努力いたします。ありがとうございました。房前先生のお言葉もありがたかったです。
6	鍼の刺入する方法、若い鍼をしない事で滑膜炎にアプローチする事がよく理解できた。
7	とてもわかりやすく、患者さんにも納得できる説明をするのに役立ちそうです。ありがとうございました。
8	膝痛の患者さんが多いので具体的で本当に勉強になりました。ありがとうございました。
9	実技を交えての講義、勉強になります。
10	実技が近くで見れ、できて良かった。
11	膝関節の臨床において、部位によっては切皮程度にもう少しアピールしたいなあと思っても膝の治療においては(灸を主体にしていた)、その手前でとどめる事が多かった。実際に実技で先生の手技を受ける事ができ、身をもって刺入の深さで当たる感じが非常によくわかった。人を治療するばかりで、自らの痛んでいるのもよくわかり、改善なくてはと。膝関節の治療の幅が広がったように思います。ありがとうございます。治療していると悩みます。でもやり続ける大切さを先生のお話で再認識いたしました。
12	触診解剖技術を高めたいと思います。
13	臨床に役立つイコール実技とは必ずしも云えない。「取穴」など、診断一つ刺針の流れの根拠が明白な話を聴きたい。
14	今日は膝関節の勉強をさせていただいて、とても参考になりました。また参加したいと思います。
15	参考にはなるが、実践するとなると・・・不安。
16	手技ができるかどうか不安です。もう少し時間がほしい。もう一度続きをして下さい。